

Step 2 単元（題材）の構想を練る



単元（題材）の構想を練るとは、何をすればよいですか？

この単元（題材）における児童生徒の「育成を目指す資質・能力」は何かを考えながら、以下の内容を検討します。



- ・ 単元（題材）の目標を考える
- ・ 単元（題材）の評価規準を考える
- ・ 設定した単元（題材）の目標と評価規準の整理をする
- ・ 単元（題材）の個別の目標を考える
- ・ 単元（題材）の個別の評価規準を考える
- ・ 単元（題材）計画を考える

目標と評価規準の設定について、もっと詳しく知りたい場合は、 p. 2-36～p. 2-45 を読んでくださいね。

単元（題材）の目標を考える

単元（題材）の目標は、育成を目指す資質・能力の三つの柱で設定します。単元（題材）の目標が、年間指導計画に記載されている場合、昨年度の児童生徒の実態からそれぞれの単元（題材）の目標と指導内容・方法（学習活動）が設定されていることもあります。そこで、実際に授業を行う前には、今年度の指導する児童生徒の実態を踏まえ、昨年度に設定した単元（題材）の目標や指導内容・方法を適宜修正し、授業づくりを行います。

単元（題材）の目標の表記

観点別目標	文末例
知識及び技能	～ができる。分かる。 理解する。身に付ける。 等
思考力，判断力，表現力等	～ができる。考える。 広げる。 等
学びに向かう力，人間性等	～しようとする。親しむ。 豊かにする。 等

（文末例は各教科の表記（p. 2-10）を参考にしています）

単元（題材）の目標設定の際には、**「授業改善の視点」（主体的・対話的で深い学び）**（p. 2-32～p. 2-34）にある**「主体的・対話的で深い学びをしている知的障害のある児童生徒の具体の姿（例）」**を活用してみてください。

